

# 「さわれる模型製作研修会」 出張集中ver 開催募集のご案内



## ■ 趣旨

我々のプロジェクトでは、主に目の不自由な皆さんのために3Dプリンタで模型を製作し届けるサービスを実施してきました。昨年度は、触りたい人それぞれのニーズに密着した模型を手軽に作れるよう、我々が蓄えてきた模型作りのノウハウを学んでもらう研修会を都内・4回シリーズで開催しました。

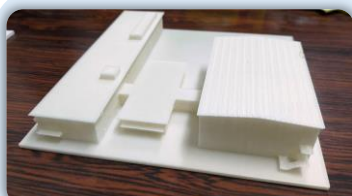
今年度は首都圏の方だけでなく、全国の皆さんに研修会に参加いただくべく集中講義形式の出張研修会を企画しています。研修会の中では、目の不自由な人だけでなく、障害の有無に関わらず楽しめるユニバーサル志向のさわれる模型に仕上げるためのテクニックも紹介します。

3Dプリンタを使ってみたい、模型を作ってみたい、目の不自由な人と感動や知識を共有してみたいという皆さんの参加を広くお待ちしております。

ご関心のある方は、以下の実施概要をご覧くださいの上でメールで[3d4sdgs+trainingtour@gmail.com](mailto:3d4sdgs+trainingtour@gmail.com) までご相談ください。



新国立競技場と旧国立競技場の模型。  
触って新旧の形の違いを体感することができます



高知県立盲学校の模型。自分が  
毎日学ぶ学校の建物を知ることが  
できます



目の不自由な人からリクエスト  
を受けたお住まいのマンション  
の模型。誰でも自分が住んでいる  
建物の形は知りたいものです

## 実施概要

開催主体プロジェクト：【「誰もが知りたいもの、必要なものを自由に手に入れ、触れられる社会」の創成に向けた3Dモデル提供体制の開発と実装】

主催：（独）大学入試センター・南谷研究室

開催協力：ファブラボ品川



←プロジェクトHP

## ■ 対象者

想定参加者は触って楽しめる模型を作りたい晴眼者の方です。これまでには、盲学校はじめ教員の方、点字図書館職員の方、博物館・科学館・美術館の館員の方なども参加いただいています。

参加者の方には実習用のノートパソコンを持参いただきます（お持ちでない場合は主催者側で対応を検討）。

## ■ スケジュールと内容

研修は、1日ないし2日で実施します。休日・祝日の開催を原則とします。

研修会で取り上げる主な内容は

- ・3DプリンタとCADの基礎←自分で模型を作るための基本の基本を学習
- ・既存3Dデータの触れる模型向け改変←公開データを活用して簡単模型製作
- ・視覚障害者の触察のための製作上の留意点←触って分かりやすくするためのポイントを解説
- ・障害の有無にかかわらず楽しめる模型のための工夫←誰もが楽しめる模型にするための秘訣を紹介

です。

## ■ 開催に向けた進め方

出張開催を希望される方は、ご本人含め5人（最低3人、要相談）の参加者を集めてください。

参加者の皆さんの都合と主催者側の事情を考慮して、具体的な開催日程を検討します。

## ■ アフターサポート

研修会終了後には、主催者側で3Dプリンタがない人のための印刷や造形エラーへのアドバイス、3Dプリンタ導入検討のための機材貸し出しなどのサポート提供を計画しています。

## ■ 費用とお願い

2024年度は研究プロジェクトの一環として実施するため、参加費の徴収や出張に関わる経費を負担いただくことはございません。研修会を一層改善するため実施後のアンケートに協力ください。